

2025年9月30日

格付投資情報センター（R&I）は以下の格付を公表しました。

フォルクスワーゲン・ファイナンシャル・サービス・ジャパン（証券コード：－）

【新規】

発行体格付：AA- [安定的]

【格付理由】

フォルクスワーゲン・ファイナンシャル・サービス・ジャパン（VWFSJ）は独Volkswagen AG（VWAG）がグループの金融統括子会社であるVW Financial Services Overseas AG（VWFSO）を通じて100%出資する日本の販売金融子会社。金融サービスの提供を通じてVWAG傘下ブランドの乗用車の日本での販売支援を担う。グループ内での機能面の重要性は高く、発行体格付はVWAGグループの信用力を反映してAA-を付与した。

オートローン、リースを軸に、保険、クレジットカードなどの周辺サービス、ディーラー向け融資を展開している。VWFSJがファイナンスを提供する乗用車ブランドはフォルクスワーゲン、アウディ、ベントレー、ランボルギーニ、ドゥカティと幅広く、日本車と比べて単価の高い車両が多い。新車に加え、認定中古車に対する販売金融も展開する。ペネトレーション（利用率）は比較的高い水準だ。

個人向け与信は信販会社に保証を委託しており、信用リスクは取っていない。残価設定型商品で販売店からVWFSJに返却される車両は少なく、残価リスクが顕在化する可能性は低いとみている。調達は長期、固定金利の割合が高く、金利リスクも大きくない。

抱えるリスク量が小さく、十分なリスク耐久力を備えている。良質な顧客属性を反映し、資産の質は健全だ。認定中古車向けファイナンスの資産の質は新車と大きく変わらないとみている。基礎的な利益の規模は大きくないが、経常利益ROA（総資産利益率）や経費率は良好だ。

金融機関借り入れのほか、債権流動化、コマーシャルペーパー（CP）、MTNなどの分散した資金調達手段を確保している。加えてVWグループがグローバルに抱える販売金融子会社に資金を供給するインターカンパニーローンの仕組みを活用できる。資金調達余力を十分に確保しており、流動性リスクは小さいとみている。

VWAGはドイツに本社を置く自動車メーカー大手。グローバルに事業を展開しており、主力市場の欧州ではトップの地位にある。中国や南米でも市場シェアが高い。有力なブランドを多く抱えており、高級車から大衆車まで商品ラインアップが充実している。電気自動車（BEV）は販売台数を着実に増やしてきた。自動車部門は潤沢なネットキャッシュを保有している。金融サービス部門においては資産の質が良好だ。R&IはVWグループの信用力が非常に高いと評価している。

VWグループは営業利益を継続して計上する力を備えているが、以前に比べて利益率が低下している。この点は信用力へのマイナス要素になる。自動車の電動化対応やソフトウェア開発への先行費用が重い。中国では競争激化の影響を受けている。加えて米国による関税が利益を圧迫する。VWグループは新車攻勢とともに、生産体制の最適化やコスト削減を進めていく。今後、信用力を維持するには、各種取り組みにより収益力を着実に回復していくことが重要になる。

【格付対象】

発行者：フォルクスワーゲン・ファイナンシャル・サービス・ジャパン

【新規】

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	AA-	安定的

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画部(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行者が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行者から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

格付関係者	フォルクスワーゲン・ファイナンシャル・サービス・ジャパン
主任格付アナリスト	和田 あゆみ
信用格付を付与した日	2025年9月30日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2024/06/24]、クレジットカード・信販 [2022/09/26]、グループ企業の格付の考え方 [2025/02/06]
情報提供者	格付関係者

利用した主要な情報	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等
品質確保のための措置	公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。
格付方法の概要	次のウェブサイト上に上記格付方法及び考慮した他の格付方法をともに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html
評価の前提	次のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html
格付符号と定義	次のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html

信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

一般に投資に当たって信用格付に過度に依存することが金融システムの混乱を引き起こす要因となり得ることが知られています。

信用格付の付与について代表して責任を有する者	後藤 潤
信用格付業者登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官(格付)第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画部(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/does/policy/site.html> をご覧ください。